



## 本誌の領

第七卷第四號

家庭の經營は六敷しいもの、理想の家庭はなかく實現しがたいものでありますが、併し現在の家庭は國家の爲めに益改良し行かねばならず、如何にせば最も完全な家庭を得可きかと云ふことは社界の進歩と共に益研究し行かねばなりません。そこで家庭研究と云ふことが頗る趣味ある難問題となる次第であります。

本誌は此必要に應じて着實な思想と穩健な主張とを以て眞正な家庭生活の意義を明にし、世の家庭教育、女子教育に向つて、適切な科學的解決を試み様と努めて居るのであります。殊に家庭教育、幼兒教育に就ては他に斯界の指導となる可き程のものがありませんから、本誌は進んで本邦に於ける幼兒教育界の木杵たらんことを私に期して居る次第であります。